

広報ぬまた Numata 4

2020.4.23

Vol.639

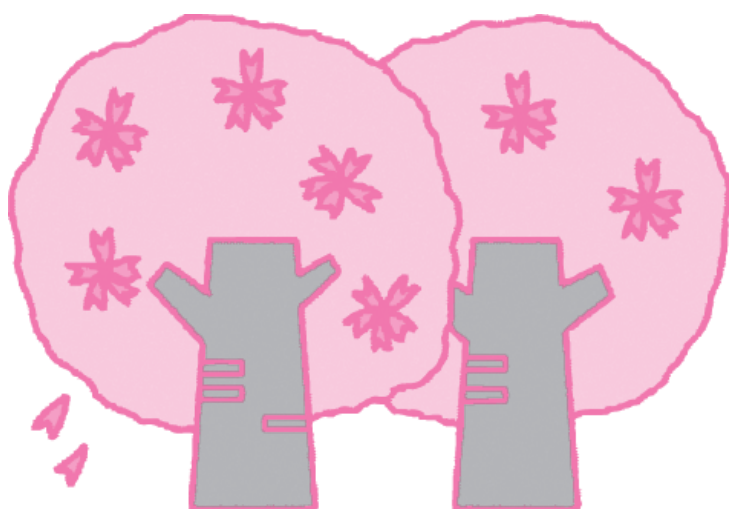
今日から小学1年生!!



4/7 沼田学園沼田小学校入学式

今月の主な内容

- ★町政執行方針・・・2
- ★教育執行方針・・・6
- ★政策事業概要・・・8
- ★まちしぽ・・・12
- ★ふれあい I N F O・・・17
- ★後期高齢者医療制度・・・18
- ★沼田警察署から・・・20
- ★沼田消防から（消報）21
- ★生涯学習ゆめっくる・・・22
- ★図書館から・・・23
- ★役場機構図・・・24
- ★公平委員交代など・・・26



令和2年度町政執行方針概要



町長 横山 茂

3月11日に開会された第1回議会定例会で、横山町長が令和2年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

沼田町第6次総合計画の重点戦略として「沼田町全力宣言！」を合言葉に、基幹産業である農業と、まちなぎわいを創出する商業の様々な分野の取り組みを有機的に結びつける「魅力！活気！元気！持続可能プロジェクト」、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない地域独自の資源を「食」や「観光」と絡め発信する「オンラインワン！世界に発信プロジェクト」、キャリア教育の充実など子どもたちの生きる力を育む、教育環境づくりや子育て支援策

の充実を図り、子育て世代が住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを推進する「沼田で育って良かった！こども応援プロジェクト」の3つの重点プロジェクトを掲げて取り組むこととし、加えて、人口減少が進むなか人口3000人を維持しておりますが、安定的な行政運営を維持するためには一定規模の人口維持が必要であり、将来的な移住に向けた視野を含め、継続的に多様な形で関わっていただく「関係人口拡大」に向けて緊急プロジェクトを発足し、提案する各種事業を有機的に結び付け「オールぬまた」で取り組んでまいります。

○子育て支援の充実

子ども・子育て支援法に基づく令和2年度を始期とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て会議委員の皆様のご協力のもと策定を進めており、この計画をもとに今後の子育て支援事業を推進してまいります。

また、本年度新たに、妊産婦及

び1歳未満の乳児を持つ保護者に対し、タクシー券を交付する「妊産婦等外出支援事業」を施行し、各種子育て支援事業への参加など保護者同士の交流を促すための外出支援に取り組んでまいります。

近年、子育てに手助けしてくれる人がいないなど、子育てに対する負担感を強く感じている家庭や、養育困難なケースが増えている状況から「沼田町ファミリーサポートセンター事業」の体制を整えることとし、所要額を予算計上いたしております。

また、近年、沼田認定こども園への2歳以下の乳幼児の入園希望が増加し、保育士不足が課題となっていることから、新たに「保育士就業支援助成事業」を施行し、保育士資格を取得し沼田認定こども園に就職される方に対し、就職支援金などを交付することとし、保育士確保による子育て環境の充実を図ります。

沼田町学童保育所につきましては、児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の観点から昨年度から保健福祉課へ所管替えをしたところですが、学童保育所

でのプログラム化や支援員の研修機会を増やすなど学童保育事業の充実強化のため、専門知識や経験を有する民間企業から事業提案を受け、4月から業務委託することとして取り進めており、引き続き小学校及び保護者をはじめ地域の方々と連携した中で児童の健全育成に努めてまいります。



○農業の振興

水稻を中心とした営農体制維持には、畑作や高収益作物も含めた複合経営の推進が必要であり、農業所得の確保と農業経営の安定化を図るため、引き続き、農業所得向上対策事業、農地流動化支援事業、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度などを継続実施してまいります。

農地流動化においては、農業委員会等関係団体の努力と、地域の受け皿となる担い手農業者の安定経営に向けた規模拡大意向に沿って順調に推移し、農地集積率は引き続き93%を超える水準を維持しており、今後も農地の流動化が円滑に進むために必要な農業生産法人の設立支援や新規就農者等担い手の確保対策に取り組んでまいります。

新農業対策室における重点課題については、町、JA、改良区、普及センター職員による企画班会議にプロジェクトを設け、スマート農業の実現、農産物のブランド化、担い手確保に向けた農業振興公社の設立、利雪農業の実現につ

いて検討を重ね、先ずは、農業関係者団体による沼田町スマート農業研究会の設立に至り、沼田町に相応しいスマート農業技術の選択に向けた実証試験に取り組み普及推進を図ってまいります。

更には、新時代の沼田農業スタイルの確立に向け、中山間地域におけるスマート農業の推進、担い手の確保に向けた農業振興公社の設立、農地流動化に向けたモデル事業の構築、労働力不足への対応、(仮称)ぬまたアグリファーム準備室の開設等を積極的に推進してまいります。



令和2年度 町政執行方針概要

○商業の振興

商工業の経営安定化の維持等は商工業者自らの創意工夫が必要であることから、商工会が主体となつて策定する「商店街活性化計画」に係る研修や先進地視察に要する経費を「商工業活性化サポート事業」を活用することとして所要額を予算計上いたしております。

また、中小企業者に対する運転資金や設備資金の融資促進に向け昨年増額した、利子補給及び保証料補助を昨年同様に予算計上し、経営の安定維持及び商店街の活性化の促進を図るなど、商工業の振興に努めてまいります。

○企業誘致の推進

店舗維持と魅力ある商業環境を保持し、魅力ある住みやすいまちづくりを促進するために昨年施行した、「魅力アップ！ぬまた活性化支援事業」を引き続き実施し、店舗の新築、空き店舗などを活用した新たな商業活動及び起業化や商品開発など、自主的・持続可能なまちづくりへの取り組みを支援し商店街の活性化を図ってまいります。

働く場の創出は、町を持続する上で欠かせないことから、我が町独自の雪利用の強みなどを活かしつつ、道内外の企業に対し積極的かつきめ細やかな企業訪問活動を継続することとし、更に企業立地促進に向け新たに「サテライトオフィスの誘致促進事業」に係る予算及び、「町内既存施設等を活用した賃貸による工場等の新增設」に助成することとする沼田町企業立地促進条例の一部を改正する条例を提案いたしております。

○沼田町まるごと自然体験プロジェクト

平成30年度に実施した「幌新地区アドベンチャーの森可能性調査」において、沼田町には魅力ある自然、文化、歴史的資源が多数存在するが、個々に点在しており魅力が十分に発揮し切れていないとの町民意見が多く出されたところであり、令和元年度には、資源の掘り起こしの為、7回の体験プログラムを試行をメインに実施し、沼田町の資源の再確認をしたところです。



○移住定住の推進

本年度も地方創生推進交付金を活用したなかで、事業化に向けた実証に取り組むこととし、「オンラインワン！世界に発信プロジェクト」の中心施策として関係人口・交流人口の拡大を目指し、豊富な資源と多様な人材の組み合わせによる「稼ぐ地域」としての変化・発展を目指してまいります。

人口動態については、平成29年、平成30年と2年続いて転入超過を達成いたしました。が、残念ながら3年連続での転入超過には至りませんでした。

しかしながら移住希望者のバイブルと言われる「田舎暮らしの本（宝島社）」では、「住みたい田舎ベストランキング」において移住相談における満足度やきめ細やかな子育て支援が評価され2年続けて北海道エリアで第1位になり、このことは小さなことから一つひとつ丁寧に積み重ねてきた結果と考えており、今後もこのランキングを移住相談会などでのPRに積極的に活用し、令和2年度に転入超過を復活できるよう、全町民の

協力のもと、総力をあげて取り組んでまいります。

移住定住に関する予算については、これまでも実施してきた移住定住ブランディング戦略事業や官学連携によるセルフリンベーション事業、UIターン新規就業支援事業に加えて、「孫ターン奨励金事業」を新たに設けるとともに「沼田町ヤング世代移住促進家賃助成事業」の拡充など創意と工夫を凝らして積極的に移住定住対策を推進してまいります。

○JR留萌本線 応援事業

JR留萌本線利用促進のため観光協会と連携し、町内外向けイベントとして、各種ツアーや小中学生への利用助成、子育て応援列車等の事業を実施してまいります。

また、町と包括連携協定を締結している北海学園大学や住民を巻き込んだ活動として、駅構内及び周辺の環境整備やJR利用促進フーキングを実施することで、地域鉄道の価値を再認識してもらい地域鉄道応援の輪（JRに乗り続

け隊）を広げてまいります。



○防災対策

近年、台風や地震などによる災害が全国的に発生していることから、継続的に防災セミナー・訓練を開催してまいりました。令和2年度は陸上自衛隊と連携した防災訓練に取り組むこととし、また防災備蓄品等の整備について引き続き実施するとともに、現在、各ご家庭にお配りしている「防災のしおり（ハザードマップ）」は平成29年度に作成したのですが、昨

年、沼田奔川が北海道の洪水浸水想定区域に指定されたことから、掲載内容を更新・充実することとし所要額を予算計上いたしております。

また、公用車・除雪機械搭載及び携帯無線機として使用しております移動系防災行政無線ですが、無線規格の改正により令和4年12月以降使用できなくなることから新規格対応機器への更新を計画するとともに、一昨年9月に発生した「胆振東部地震」の影響による広域停電の発生は本町においても町民生活に大きな影響を及ぼしたところであり、本年度においては「生涯学習総合センターゆめつくる」へ非常用発電機を設置するための所要額を予算計上いたしております。

結びに

加速化することが予想されます人口減少と少子化・高齢化・長寿化にともなう人口構造の変化はより一層進むものと思われませんが、町の将来を見据え、人口減少を和らげ人口3000人を維持するた

め、KEEP The 3000! 「関係人口up! 大作戦」を緊急スローガンとし、様々な分野で関係人口の拡大を目指し、移住定住の推進と結婚・出産・子育ての希望をかなえ、生活・教育面の充実を図るとともに、歴史や文化、豊かな自然と地域の多様な資源を活かした確かな取り組みによる「沼田町を元気にする戦略」と、人生100年時代を迎え健康で元気に「高齢者の活躍していただく場の創出」、農業・商工業など地域の特色を活かした「稼ぐ力の維持・拡大」を進め、沼田町の持続的発展を目指し、「新たな視点」と「新たな創造」をもったなかで、挑戦し続ける地域づくりを進めるため、引き続き町民皆様の声を聴かせていただき、議論を深め、地方創生の最前線で職員と情報を共有し、町民皆様と「オールぬまた」で邁進してまいりますので、町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。令和2年度の町政執行方針といたします。

令和2年度教育行政執行方針概要



教育長 吉田 憲 司

3月11日に開会された第1回議会定例会で、吉田教育長が令和2年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

本年度より小学校で新学習指導要領がスタートし、中学校においても来年度からのスタートに向けて準備が進められております。子どもたちの資質・能力を確実に育成するため、新学習指導要領に基づいた授業改革に向けての取組を支援し、充実を図ってまいります。

また、今日、学校が抱える問題は、いじめや不登校、貧困や児童虐待、特別な配慮を必要とする児童・生徒との関わりや保護者へのきめ細やかな対応の他、学校における働き方改革の推進など多岐にわたり、様々な課題解決に向けて、家庭や地域との連携を図りながら取組んでまいります。

生涯学習の推進については、町民一人一人が生涯を通じて学び続け、その成果を活かし、充実した生活を送ることが重要です。そのために町民それぞれが知識や教養を身に付け、仲間づくりを通じて生きがいのある生活を実現するとともに、スポーツに親しむことができる環境づくりもまた重要であります。

子どもからお年寄りまでの町民が「沼田でよかった」と思ってもらえるような、「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」に向けて各種施策の展開を全力で取り進めてまいります。

以下、令和2年の主要施策について申し上げます。

○小中一貫校「沼田学園」

本町は平成30年4月に、「沼田学園」を開園し、着実に基礎を固め、成果を上げつつあります。義務教育の9年間に於ける、子ども達の心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を進めるとともに、ふるさと沼田に誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く子どもを育てるための取組を進めます。

○不登校児童生徒の対応

小中学校における不登校の児童生徒の数が、2018年度に全国で16万人を超え、特に小学生における不登校率は急増しており、本町においても学校生活に順応できない子ども達への対応が喫緊の課題であります。学校への登校意欲につながるきつかけづくりとなるよう、ゆめつくる内に「適応指導教室」を開設し、家庭・学校・関係機関と連携し適宜対応を進めてまいります。

○地域・学校をつなぐ「沼田学園運営協議会」

学校を核として、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるため、昨年度導入しました「学校運営協議会」「コミュニティスクール」の充実を図ります。

○沼田町一貫・連携教育の推進

沼田学園は、一昨年度より児童・

生徒の主體的・対話的活動を促す小中全教員が共通して行う授業スタイルとして「沼田スタイル」を組織的に継続して研究・実践を積み重ねています。さらに一貫・連携教育の効果的な推進及びその定着を目指してまいります。

また、沼田認定こども園と沼田小学校との連携が早期の支援につながることも期待できることから、幼小連携もより一層深めてまいります。

○学力向上対策の推進

本年度からスタートする小学校のプログラミング教育については、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、自分の意図する一連の活動を実現するため、どのような動きの組み合わせが必要か等、プログラミング的思考を論理的に考える力を養うことを目的としています。子どもたちの秘めている能力や可能性を発掘し、将来の社会で活躍できるきつかけとなるよう学習活動を通じて進めてまいります。

○学校力の向上

学校力の向上のため、管理職のリーダーシップのもと学校として目指す方向性を確認するとともに、方策を共有し、日々の実践と校内研修を充実させてまいります。教職員が教育専門家集団としての能力を十分に発揮するため、先進地視察や各種研修会へ参加するなど、キャリアステージに応じた資質能力向上を図ります。

また、地域・家庭と連携し信頼される学校並びに教職員の育成に努めます。



いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

■妊産婦等外出支援事業

【新規】208 千円

妊産婦及び乳児同伴での外出にハイヤーチケットを交付し外出や保護者同士の交流を促すことで安心して子育てしていただく環境の向上を図ります。

■地域資源を活用した健康ブランド事業【新規】5,000 千円

地域の健康課題を解決するため地方創生包括連携協定を結ぶ(株)カネカと連携し、健康に良いとされる「トマト・温泉」といった身近な地域資源を活用した「健康へのアプローチ」づくりに取り組みます。

■保育士就業支援助成事業

【新規】350 千円

町内の保育施設に新たに就職される方に助成を行うことで町内就業を促し、安心して子育ていただける保育環境の向上を図ります。



■介護従事者就業支援助成

【新規】600 千円

町内の介護施設に新たに就職される方に助成を行うことにより介護職員を確保し、安心して住み続けられるよう介護環境の向上を図ります。

■禁煙外来費用助成事業【新規】200 千円

喫煙のリスクを認識し禁煙に取り組む方に助成を行い、疾病の予防、健康意識の向上を図ります。

にぎわいのあるまちづくり〔商工業の振興〕

■歩いて健康・食べて発見・巡って にぎわい創出事業【拡充】3,502 千円

商業拠点施設である「まちなかほっとタウン」と医療・健康の拠点施設である「暮らしの安心センター」をメイン会場に町内各施設を巡る「ウォーキングイベント」や「にぎわいイベント」を開催し、まち全体に新たな人の流れを生み、にぎわいや潤い、活力を創出し地域内外の交流人口の増加を図ります。

■賑わい活動拠点整備推進事業 【新規】314 千円

店舗開設希望者等による起業に向けた活動を行う場所（チャレンジショップ・シェアキッチン・コミュニティレストラン等）の整備を含め中心市街地の振興発展、賑わいによる商店街の活性化を図るため、商工会と一体となり検討を行います。

令和2年度予算

主要事業①

にぎわいのあるまちづくり〔農業の振興〕

■新農業対策室の継続設置【新時代農業への取り組み】4,586千円

新時代の沼田農業スタイルの確立に向け、中山間地域におけるスマート農業の推進、担い手の確保に向けた農業振興公社の設立などを重点事項として掲げており、まずは設立に至った沼田町スマート農業研究会との連携によりスマート農業技術の選択に向けた実証試験に取り組み、普及促進を図ります。

■災害対応・現場管理システム導入事業【新規】2,662千円

災害発生時には、被災状況を早期に把握する必要があることから、GIS（地理情報システム）を活用し被災農地の正確な位置及び被災状況を把握することにより早期に農地復旧を図る体制を整えます。併せて、被災状況をドローン等により空撮し詳細な状況把握を速やかに行えるよう災害時等支援協定を締結いたします。

■農福連携事業 416千円

高齢者や障がい者の社会参加や地域貢献を進めることで、地域活性化と高齢者・障がい者の自信や生きがいを創出し社会参加を促すため町内福祉施設及び障がい者事業所と連携し農福連携事業の実証を行います。



■農業所得向上対策事業 7,866千円

水稲との複合経営を推進するため「園芸ハウス更新・増棟支援事業」にJA北いぶきと連携し取り組むとともに、「新規作物等導入・雪中ブランドづくり」支援を実施し多様な作物の導入による経営の高度化、法人化・法人及び協業組織による機械購入費支援も併せて実施し本町農業の持続的発展を目指します。



にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

■賃借型企業立地促進事業【新規】

現行の企業立地促進条例による補助は自己所有の施設整備を対象としており、多様な形態での企業進出を促進するため町内に工場等を有しない企業等が、新たに町内の空き物件を賃借し工場等を設置する場合及び、町内に既に工場等を有している企業等が事業拡大により新たに工場等を設置しようとする場合の賃借料を新たに補助対象とし、企業進出・事業拡大をサポートし地域の活性化を図ります。

にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

■サテライトオフィス設置促進事業【新規】

本社から離れた場所にオフィスを構えるサテライト（衛星）オフィスが注目されていることから既存町内施設への「サテライトオフィス」設立誘致に取り組み、多様な働き方の提供と将来の企業進出による交流人口・関係人口の増加により地域の活性化を目指します。

にぎわいのあるまちづくり〔観光の振興〕

■沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業【拡充】24,104 千円

平成 30 年度から、町内に「点」として存在する豊かな自然、観光資源及び歴史的文化財といった地域資源の可能性調査に取り組んでおりますが、点在する地域資源をパッケージ化及び価値の再認識・磨き上げるとともに、地域資源を一体的に P R し周遊・滞在していただける仕組みづくりのため、昨年度は「点→線・面」とするため地域資源を繋ぐストーリーづくり及び体験プログラムの試行を実施しました。

子どもの時から沼田町の歴史や文化を体験を通じて学び本町の魅力に体験を通して再発見し、町民皆さんが誇りをもって「普段使いしている」地域ブランドを発信いただくことで関係人口・交流人口・体験人口の増加を促進するとともに「地域の稼ぐ力」を発揮し地域の活性化を図ります。

にぎわいのあるまちづくり〔移住定住の促進〕

■ヤング世代移住促進家賃助成事業【拡充】2,331 千円

移住希望者にとって住宅は重要な条件の一つですが、町営住宅は新しいものでも建築後 15 年以上が経過し、近年民間賃貸住宅の建設は進んでいますが、近隣に比べ家賃が高いことから若者世代を対象に民間賃貸住宅の家賃助成を実施し更なる移住定住の促進を図ります。



■孫ターン奨励事業【新規】525 千円

孫（若い）世代に、祖父母が居住しており地域に溶け込みやすい本町への移住を促すことで、本町に縁のある孫世代移住の流れを作り出し高齢者の見守り充実と移住定住の促進を図ります。



令和2年度予算

主要事業③

希望を育むまちづくり



■奨学資金貸付制度【制度改正】

奨学資金の貸し付けを受けた方が町内で農業又は商工業後継者として就労した場合、返済免除（一部含む）の対象としておりましたが、新たに「町内に住所を有し、町内に事業所を有する企業に勤務する場合」も返済免除の対象とすることとし、将来の沼田町を担う人材の育成を図ります。

安心安全に暮らせるまちづくり

■高齢者交通安全対策助成事業

【新規】327 千円

免許証の返納を検討する高齢者の経済的負担・移動負担の軽減を図ることにより安心・安全なまちづくりを進めます。

■生涯学習総合センター非常用

発電機整事業【新規】

昨年度から、避難所に非常用発電機の整備をし地域防災力の向上を図っておりますが、本年度につきましては生涯学習総合センター「ゆめっくる」に非常用発電機の整備を行います。

■スクールゾーン・キッズゾー

ンの設定【新規】267 千円

本町では、昨年、警察署等関係機関と合同で緊急の通学路安全点検を実施したところですが、新たに「スクールゾーン・キッズゾーン」を設定し、小学校及び認定こども園周辺を運行する運転手に対し安全運転を呼び掛ける「のぼり旗」を設置するとともに、関係機関と連携して重点的に啓発活動を行います。

■ JR 留萌本線利用促進事業

【拡充】3,627 千円

留萌本線は、通学・通院等住民の「足」として重要であるとともに、長年にわたって本町の中心となってきた存在であり本町のシンボルとして地域に根付いているとともに、従来の目的地に向かうための手段としてだけでなく「鉄道に乗る」行為自体を目的とする「観光」としての重要性も増してきています。

また、環境に優しい低炭素化社会の担い手・大量高速輸送の手段としても大きな存在感を示す等、地域の貴重な財産である「留萌本線」を応援する事業に継続して取り組みます。



3 / 早くグラウンドで運動できますように

12 沼田小・中学校の雪割りボランティア

3月12日（木）から13日（金）に沼田小学校と中学校の雪割りボランティアを渡部建設株式会社（渡部稔代表取締役）に行っていただきました。

これは同社が毎年、地域貢献活動の一環として取り組んでいる活動で、児童たちはこの雪割り作業によって早く雪が解けるのを心待ちにしています。



3 / 希望の桜をオリンピックに

25 雪氷桜プロジェクト

3月25日（水）沼田式雪山センターで北海道雪氷桜プロジェクト実行委員会（越智文雄同実行委員長）等が全道から集めた約3,200本の桜の枝をコンテナに並べて雪山へ埋設しました。

このプロジェクトは2018年から始めたもので、東京オリンピックに北海道の雪と桜を贈ろうという企画です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今夏のオリンピックは延期となりましたが、今回雪の冷気で開花を遅らせる桜は、今後北海道内のイベントで使用する予定です。

オリンピック延期を受けて越智実行委員長は「来年開催される東京オリンピックのマラソン・競歩の応援のみならず、入場行進にも使ってもらえるよう活動していきたい」と今回よりも多くの桜の枝を集めて全世界に見てもらいたいと話し、横山町長は「オリンピックの延期は非常に残念だが、引き続き来年に向けて取り組んでいきたい」と話されました。



ドキドキ、ワクワクが待っている

入園式入学式が行われました

沼田認定こども園（土肥芳子園長）で入園式が、コロナウイルス感染予防対策のため縮小して執り行われました。

式では土肥園長から「今年はいつもと違う入園式ですが、明日からお兄ちゃんお姉ちゃんが来るので、元気いっぱい遊びましょう」と園児に話され、新入園児17名（0歳児～3歳児）は一人ひとり名前を呼ばれ元気に返事をし、全園児81名の仲間入りをしました。

また4月7日（火）には、沼田学園沼田小学校（疋田博和校長）で15名、沼田中学校（米倉卓司校長）では19名の入学式がそれぞれ行われ、マスク着用や椅子と椅子の距離を離すなどのコロナウイルス感染予防対策が実施されていました。



交通安全を願って

入園児と入学生にマスコット寄贈

沼田町商工会女性部（三浦実希部長）が沼田認定こども園の園児に、また役場主婦の会（横山美紀子会長）からは、春から沼田小学校に通う新一年生に「カエルのマスコット」をそれぞれプレゼントしました。

沼田認定こども園で子ども達にマスコットを渡した三浦部長は「このカエルには無事帰るという意味が込められています。交通安全に気を付けてください。」と話けると園児たちは「ありがとうございます」と大きな声で答えていました。

また横山会長は「子どもたちが無事に通学できるよう願いを込めて作りました」とマスコットの入った箱を疋田博和校長に手渡しました。



新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症は、国内外で猛威を振るっています。

4月7日に政府は「緊急事態宣言」を発令し、その地域を全国に拡大しました。

新型コロナウイルス感染症の終息には、一人ひとりの心がけと行動が重要です。これまで以上に、「手洗い」と「咳エチケット」、さらには「密閉」「密集」「密着」しやすい環境を避けるようお願いいたします。

沼田町民が利用できる相談等窓口

◆帰国者・接触者相談センター

北海道深川保健所	☎(0164)22-1421	平日8:45~17:30
北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課	☎(011)204-5020	24時間体制

相談窓口

保健福祉課

☎35-2120
FAX36-2005

感謝

皆で助け合って

手作りマスクを子どもたちに

新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの品薄が続く中、商工会女性部（三浦実希部長）、町内で音楽活動をしている歌声サークル（市橋静代代表）とウクレレサークル（菅原瑞枝代表）が、コロナウイルス感染予防のため小学生に手作りマスクをそれぞれ寄贈しました。

商工会女性部員がテレビを見ていて「学校が始まるのにマスクが無い。作ることでできない保護者もいる。私たちが作ろう」と思い立ち、それから約1週間で300枚



のマスクを完成させました。商工会女性部の三浦部長は「このマスクで元気な沼田っ子でいてほしい。必要であれば追加で作ります」と話しました。

また、歌声サークルの市橋代表は「マスクが不足しているので少しでも役に立ちたい。未来のある子どもたちにぜひ使ってほしい。」と話されていました。

手作りマスクを受け取った横山町長は「子どもたちにとって心配していた環境に手作りマスクが届いたのはとてもうれしい」と感謝の言葉を述べました。

感謝

大事な時に助かります

除菌用スプレーの寄贈を受け町民に配布

3月25日(水)東京都千代田区に本社がありスプレーボトル製造販売を行うタスマン株式会社(多田宏代表取締役)と札幌市にある環境衛生会社のESI 株式会社(菊池匡彦代表取締役)から除菌用スプレー1,500本を寄贈いただきました。

町に立地する予定のタスマン(株)から新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらいたいと沼田町全世帯や主要施設等に向けて寄贈いただいたもので、同日、町民体育館でESI(株)の社員等が消毒液のもととなる次亜塩素酸水生成パウダーと水道水で除菌液を作り、スプレーボトルに詰める作業を行いました。

完成した除菌用スプレーボトルを菊池代表取締役から受け取った横山町長は「ありがたい気持ちでいっぱいです。町民や学校等の各施設等にお配りしていきます」とお礼を述べました。

この除菌用スプレーは3月28日(土)から「ふれあい」ほか町内5か所で町民の方へ無料配布し、町民の方からは「消毒液を買いたくても商店に在庫が無く、配ってもらえるのは本当に助かる」「手の除菌にも使えるのでうれしい」と喜びの声が多くありました。



除菌用スプレー（次亜塩素酸水500ml）を交換、配布しています！

今回希望者に配布した除菌用スプレー（次亜塩素酸水500ml）を新しい除菌液が入ったボトルと交換しています。

日時： 当面の間、月曜日～金曜日の平日のみ。午前8時45分 ～ 午後7時00分

場所： 健康福祉総合センター「ふれあい」

方法： ①今回お配りしたスプレーボトルを空にして持参してください。

②空ボトルと充填ボトル（新しい除菌液入り）を交換します。

③数量限定のため、1世帯1本、1事業所2本までとします。

④持参の空ボトルの数以上に、新しいボトルを持ち帰ることはできません。

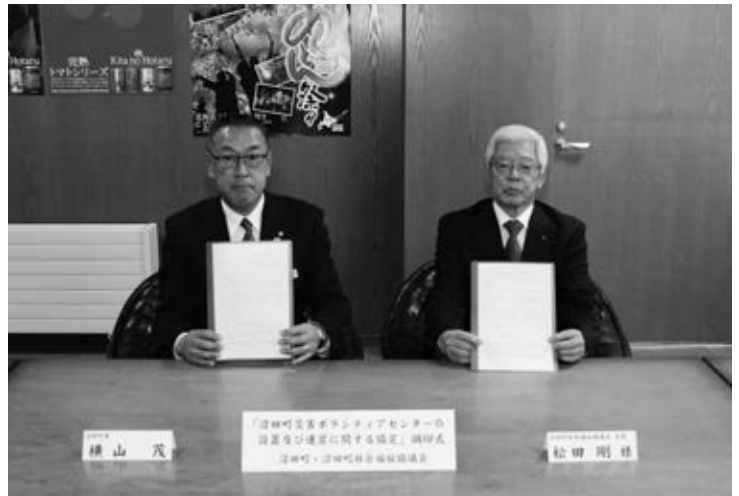
⑤3月下旬に除菌用スプレーを受け取られていない方で、この機会に初めて希望される方には、お渡しいたします。

⑥ご自身で「ふれあい」に来られない方には自宅にお届けしますのでご連絡ください。

4 突然の災害に備えて 3 社協と防災に関する協定を締結

災害時におけるボランティアセンターの設置及び運営の内容を明確にするため、町と町社会福協議会（松田剛会長）は「沼田町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」を締結いたしました。

4月3日（金）役場内で行われた調印式で松田会長は「胆振東部地震の際も役員や町民を派遣し対応した。今日の協定が町民の安心安全につながり、町民の防災意識を高めたい」と述べられました。



感謝

春の雪解けにありがとうございます

日本緑化中村株式会社ボランティア

4月10日（金）春の雪解けにより汚れた雨水桟のヘドロ回収清掃ボランティアを日本緑化中村株式会社（中村剛代表取締役）に行っていました。

暮らしの安心センターから役場に向かう町道約500mを作業員10名がスコップを手際よく使って作業を行い、作業を監督した渡辺禎常務取締役は「春先は雪解けで相当汚れている。今日の清掃作業で少しでも町民の皆さんが気持ちよく過ごせられれば」と話されていました。



沼田歌人会50年記念の歌集「草笛」を発刊

町内に住む短歌の愛好者でつくる沼田歌人会（市橋静代会長）が、発足50年を記念して第5歌集「草笛」を発刊しました。

歌集の中には物故会員を含め19名の作品がそれぞれ20首ずつ収録されています。

市橋会長は「短歌にはそれぞれの人柄がにじみ出ています。ぜひ手にとって見てほしい。」と話していました。

この歌集は、図書館や安心センター、ほたる館で閲覧できます。



受けてみませんか？健康診査

今年度も健診のご案内をする時期となりました。順次発送いたしますので、お手元に届いた際には内容を確認の上、お申し込みください。

気づいた時には手遅れにならないよう、健康づくりと病気の予防、早期発見のために年に1度は健診を受けましょう！

◆健診日程表

健 診	日 程	場 所
沼田ふれあい総合検診	7/7 ～ 7/9	健康福祉総合センター 「ふれあい」
	10/7 ～ 10/9	
旭川バス総合健診	7/1、7/27	旭川がん検診センター
	11/ 2、11/26	
随時健診	6/1 ～ 翌 3/31	旭川がん検診センター 札幌がん検診センター
沼田ふれあい 子宮・乳がん検診	12/ 7	健康福祉総合センター 「ふれあい」
深川市立病院 子宮・乳がん検診	1/21、28	深川市立病院
	2/18、25	
沼田厚生クリニック 前立腺がん検診	11 月予定	町立沼田厚生クリニック

※年齢、健康保険等によって受けられない健診があります。詳しくは申込書をご確認ください。

沼田町では健診費用として、
最大 27,000 円※
の助成を行っております。
※国保加入の40代女性の場合

新型コロナウイルス感染症
予防として、検診会場での
密集を避けるため、随時検
診の受診にご協力お願いい
たします。



後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 制度の見直し等について ～

■ 均等割の軽減割合が見直しされました

- 保険料均等割の軽減割合が、次のとおり見直しされました。

【令和元年度】

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合
33万円（かつ、被保険者全員が所得0円） ※年金収入のみの場合、受給額80万円以下	8割軽減
33万円	8.5割軽減

【令和2年度】

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合
33万円（かつ、被保険者全員が所得0円） ※年金収入のみの場合、受給額80万円以下	7割軽減
33万円	7.75割軽減

■ 均等割2割・5割軽減の範囲が見直しされました

- 保険料均等割軽減のうち、2割・5割軽減に係る所得判定基準が、次のとおり見直しされました。

【令和元年度】

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合
33万円 + (28万円 × 世帯の被保険者数)	5割軽減
33万円 + (51万円 × 世帯の被保険者数)	2割軽減

【令和2年度】

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合
33万円 + (28万5千円 × 世帯の被保険者数)	5割軽減
33万円 + (52万円 × 世帯の被保険者数)	2割軽減

■ 保険料の計算方法（令和2年度）

- 保険料額は、被保険者全員が等しく負担する「均等割額」と、前年の所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。

均等割
【1人当たりの額】
52,048円

+

所得割
【被保険者本人の所得に応じた額】
(令和元年中の所得 - 33万円) × 10.98%

=

1年間の保険料
【限度額64万円】
(100円未満切り捨て)

※ 年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

- 所得とは、前年の「収入」から必要経費（公的年金等控除や給与所得控除額など）を引いたものです。

■ 令和 2 年度の年間保険料額の例

● 単身世帯の場合

年金収入	均等割 軽減	令和 2 年度	前年度比
80 万円	7 割	15,600 円	5,600 円増
168 万円	7.75 割	28,100 円	4,700 円増
196 万円	5 割	73,200 円	2,600 円増
196.5 万円	5 割	73,700 円	12,500 円減
219 万円	2 割	114,100 円	4,100 円増
220 万円	2 割	115,200 円	5,900 円減

● 夫婦 2 人世帯（共に被保険者）で、 妻の年金収入が 80 万円以下の場合

夫の 年金収入	区分	均等割 軽減	令和 2 年度	前年度比
80 万円	夫妻	7 割	15,600 円	5,600 円増
			15,600 円	5,600 円増
168 万円	夫妻	7.75 割	28,100 円	4,700 円増
			11,700 円	4,200 円増
224 万円	夫妻	5 割	103,900 円	3,700 円増
			26,000 円	900 円増
225 万円	夫妻	5 割	105,000 円	11,400 円減
			26,000 円	14,100 円減
270 万円	夫妻	2 割	170,100 円	6,100 円増
			41,600 円	1,500 円増
272 万円	夫妻	2 割	172,300 円	3,900 円減
			41,600 円	8,600 円減

■ 1 年間の保険料の賦課限度額が見直しされました

● 保険料の賦課限度額が、次のとおり見直しされました。

令和元年度	令和 2 年度
62 万円	64 万円

**令和 2 年度の保険料額は、
7 月に個別にお知らせします。**

◆ 障害認定申請についてのお知らせ ◆

一定の障がいのある 65 歳から 74 歳までの方のうち、申請により北海道後期高齢者医療広域連合の認定を受けた方は、後期高齢者医療制度に加入することができます。

◆ 一定の障がいとは ◆

- (1) 国民年金などの障害年金 1 級・2 級を受給している方
- (2) 身体障害者手帳 1 級・2 級・3 級をお持ちの方
- (3) 身体障害者手帳 4 級をお持ちの方で、次のいずれかに該当される方
 - 音声障害 ○ 言語障害
 - 下肢障害 4 級 1 号（両下肢の全ての指を欠くもの）
 - 下肢障害 4 級 3 号（一下肢を下腿の二分之一以上で欠くもの）
 - 下肢障害 4 級 4 号（一下肢の機能の著しい障害）
- (4) 精神障害者保健福祉手帳 1 級・2 級をお持ちの方
- (5) 療育手帳 A（重度）をお持ちの方

◆ 脱退手続きについて ◆

後期高齢者医療制度の被保険者（加入者）となる方は、それまで加入していた健康保険（国民健康保険、健康保険組合、共済組合等）から脱退し、後期高齢者医療制度に加入することになります。

脱退手続きについては、各保険者へお問い合わせください。

◆ 申請及びお問合せ 保健福祉課 保険グループ ☎ 35 - 2120



春の地域安全運動 みんなで築こう、安全で安心な大地

○運動期間

5月11日（月）から5月20日（水）までの10日間

○運動重点

・子供の犯罪被害防止

ウォーキング、ジョギング、買い物、犬の散歩等の日常活動の中で出来る「ながら見守り」に御協力下さい。防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの 防犯グッズを持たせましょう。

・女性の犯罪被害防止

イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作しながらなどの「ながら、歩き」は周囲の状況が分かりにくくなるので注意しましょう。

・特殊詐欺の被害防止

「自分だけは大丈夫」と思っている人ほど危険です。「自分も騙されるかもしれない」という心構えをして詐欺の電話などがあった場合に落ち着いて対応しましょう。

自転車の安全利用促進 危ないよ イヤホン スマホで うわの空

○自転車安全利用5則

- ・自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ・歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ・安全ルールを守る
 1. 飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
 2. 夜間はライトを点灯
 3. 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ・車道は左側を通行
- ・子供はヘルメットを着用

安心・安全で豊かに暮らすことができる社会の実現

○悪質商法の被害にあわないためのポイント

【う】うまい話を信用しない！～うまい話、絶対にもうかる話には、必ず大きな落とし穴～

【そ】そうだんする！～ひとりで判断せず、家族・知人・相談機関に相談を～

【つ】つられて返事をしない！すぐに契約をしない！

～悪質業者は、言葉巧みにすぐ契約するように迫ってきます～

【き】きっぱり！はっきり！断る！～あいまいな返事をせず、キッパリ！ハッキリ！断る！～

犯罪の発生状況（令和2年3月末現在）

町内における犯罪件数

	空き巣	金庫 破り	忍び 込み	万引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上 狙い	部品 ねらい	詐欺	暴行	その他	合計
令和2年													0
令和元年													0

交通事故の発生状況（令和2年3月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和2年	0	令和2年	13
令和元年	0	令和元年	13

町民が町外で第1当事者と

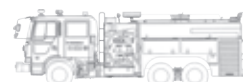
なった人身事故件数

令和2年	0
令和元年	0



消 報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当 ☎ 35-2050



沼田消防団に新しい仲間が 1 名入団！

沼田消防団 大原正己団長より 4 月 1 日付けで、1 名の新入団員と 2 名の昇格者に辞令が交付されました。該当者は次のとおりです。

新入団員（第 3 分団）

団 員 岡本 安正

昇格者（第 1 分団）

部 長 瀧本 則光

班 長 片山 賢



岡本新入団員

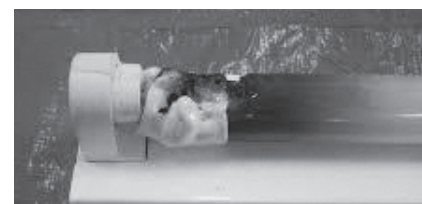


交換する前に確認を！ 蛍光灯から LED ランプに交換すると火災の恐れ

昨年度、消費者庁に LED ランプや照明器具からの発煙や火災などの事故が 2018 年度までの約 10 年間で 328 件寄せられました。

原因のひとつに照明器具と LED ランプの組み合わせの誤りがあり、組み合わせを誤ると照明器具に大電流が流れて照明器具の故障や最悪の場合火災につながる恐れがあります。

火災事例（画像資料は消費者庁より抜粋）



▲口金樹脂及び樹脂カバー溶融



▲LED ランプの基盤が焼損

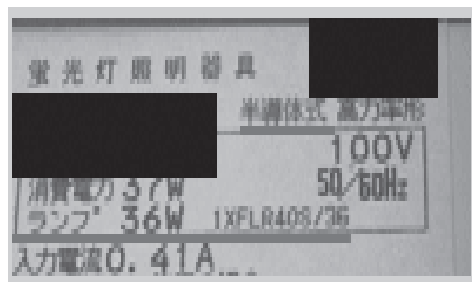
※ご家庭の蛍光灯を LED 照明に替える場合は、照明器具ごと LED 対応照明器具に交換する事を検討しましょう。

■ LED ランプを購入する際には、必ず販売店又はメーカーに確認して下さい。

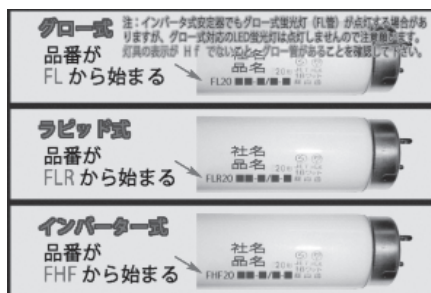
～蛍光灯の豆知識～

蛍光灯の点灯方式は 3 種類あります。どの種類も LED 照明に交換される場合は照明器具ごと交換することをお勧めします。また、より詳しく知りたい方は下記のホームページを参照して下さい。

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/2018/)



▲蛍光灯照明器具表示内容



▲LED ランプ表示内容

点灯方式は 3 種類あります

■グロースタータ式
(スタータ式)

■ラピッドスタート式

■インバーター式
(半導体式)

住宅用火災警報器は 10 年を目安に点検・交換しましょう。

沼田町
防火標語

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』



新型コロナウイルス感染予防対策にかかる 町内施設の休館及びオープン延期について

生涯
学習

ゆめ
つくる

新型コロナウイルス感染症は終息が見えず、道内は札幌市を中心に、再び感染拡大しています。最近、感染源がわからない市中感染（いつの間にか感染している。）が増えているため、本町にとっても他人事ではありません。

4月7日に政府は「緊急事態宣言」を発令し、これを受けて、北海道は札幌市と共同で「緊急共同宣言」を行い、公共施設の休館と不要不急の外出および札幌市との往来を控えるよう等を要請しています。

政府の緊急事態宣言は、4月16日に全都道府県に拡大し、北海道は「特定警戒都道府県」に指定され、本町の町内施設においても感染予防対策のため休館、または施設のオープン延期をすることにしました。

町民の皆さまには、これまで以上に感染予防につとめていただきますとともに、ご理解いただきますようお願いいたします。

■ 沼田町各施設の休館期間等

【令和2年4月17日現在】

施 設 名	休 館 期 間
○生涯学習総合センター「ゆめつくる」 ○町民会館 ○各地区活性化センター ○町民体育館 ○子育て交流広場「えがお」 ※暮らしの安心センター トレーニングルーム、カフェ、健康カラオケ	4月18日（土）～5月6日（水）休館
○図書館	平日 10：30～18：30 土日祝 9：30～17：00 開館 （図書館については本の貸出及び返却のみ）
○パークゴルフ場 ○化石体験館 ○宿泊交流センター「夢未来」 ○野球場	オープン延期
○沼田学園 沼田小学校・中学校	4月20日（月）～5月6日（水）休校
※学童保育所「こどもつくる」	4月18日（土）8：00～18：30 開所 4月20日（月）～5月6日（水） 8：00～18：30 開所（※期間中の土日は休み）

※につきましては保健福祉課にお問い合わせください。

お問い合わせ … 沼田町教育委員会 （電話 35－2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>





『ぐりとぐら』の大きなきいろういカステラ、『トラのバターのパンケーキ』のせかいいいちおいしいパンケーキ、『バムとケロのにちようび』のこんがりドーナツ…など絵本にはおいしそうな食べ物がたくさん出てきます。そこで今月は作ったら絵本が読みたくなる、絵本から生まれたレシピが載っている本を紹介します。

まず紹介するのは『絵本からうまれたおいしいレシピ』です。『ぐりとぐら』のきいろういカステラのレシピの他にも、『11ぴきのねことあほうどり』のコロッケととりのまるやきのレシピなど24作品の絵本に出てくる食べ物のレシピが載っています。この本はシリーズになっていて図書館には2と3もあります。3冊のなかからお気に入りの絵本のレシピを探すのも楽しいです。

次に紹介するのは『絵本の中のレシピ』です。こちらは絵本をイメージした食べ物のレシピ集です。『たのしいムーミン一家』や『だるまちゃんとてんぐちゃん』など計8作品の絵本からイメージしたレシピが出てきます。

これからくる連休に、絵本に出てくる食べ物・絵本をイメージした食べ物をつくって、お茶をしながらゆっくり絵本を読んでみてはいかがでしょうか。

図書館に来館した際は、ぜひ手に取って見てみてください。

新刊図書

「一般書」

できない相談	森 絵都
恐い間取り	松原 タニシ
犯人のいない殺人の夜	東野 圭吾
書店ガール7	碧野 圭
失敗のチカラ	山崎 良次
私の手はなぜ痛いのか、しびれるのか、曲がっているのか	平瀬 雄一
ベニシアと正、人生の秋に	梶山 正
お互い40代婚	たかぎなおこ
おかあさんライフ。	たかぎなおこ
女たちのシベリア抑留	小柳 ちひろ

「児童書」

ふたをばかっ	新井 洋行
いっせーのばあ	新井 洋行
ごはん山	はらぺこめがね
のりまき	小西 英子
100年たったら	あべ 弘土
おにやけ	柴田 ケイコ
パンダしりとりコアラしりとり	高畠 純
やきいもとおにぎり	みやにしたつや

新刊図書おすすめ!!

『背中の蜘蛛』 誉田 哲也



東京・池袋の路上で男の死体が発見された。目撃者もなく操作は難航、しかし「あること」がきっかけになり捜査は急転する。捜査に携わる管理官を中心に、新時代の警察捜査を濃密に描く。著者史上、もっとも尖った警察小説。

『失敗図鑑 - すごい人ほどダメだった! -』

大野 正人



すごい人ほどダメだった! 読めば勇気がわいてくる、新しい心の教科書。「最近新しいこと試してなくてつまらないな」と感じている大人の方にもおすすめです。

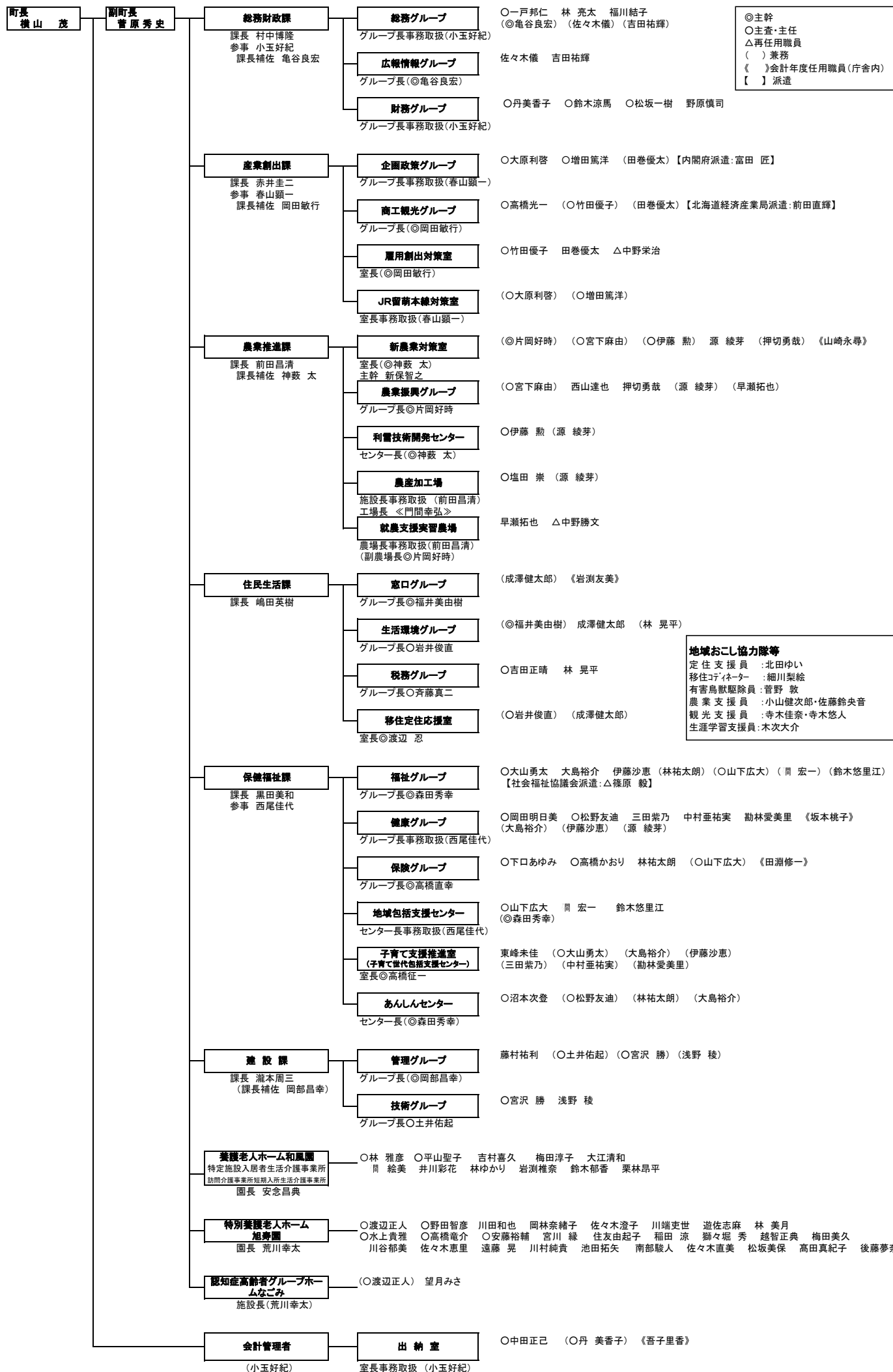
家から図書館の本を検索しよう

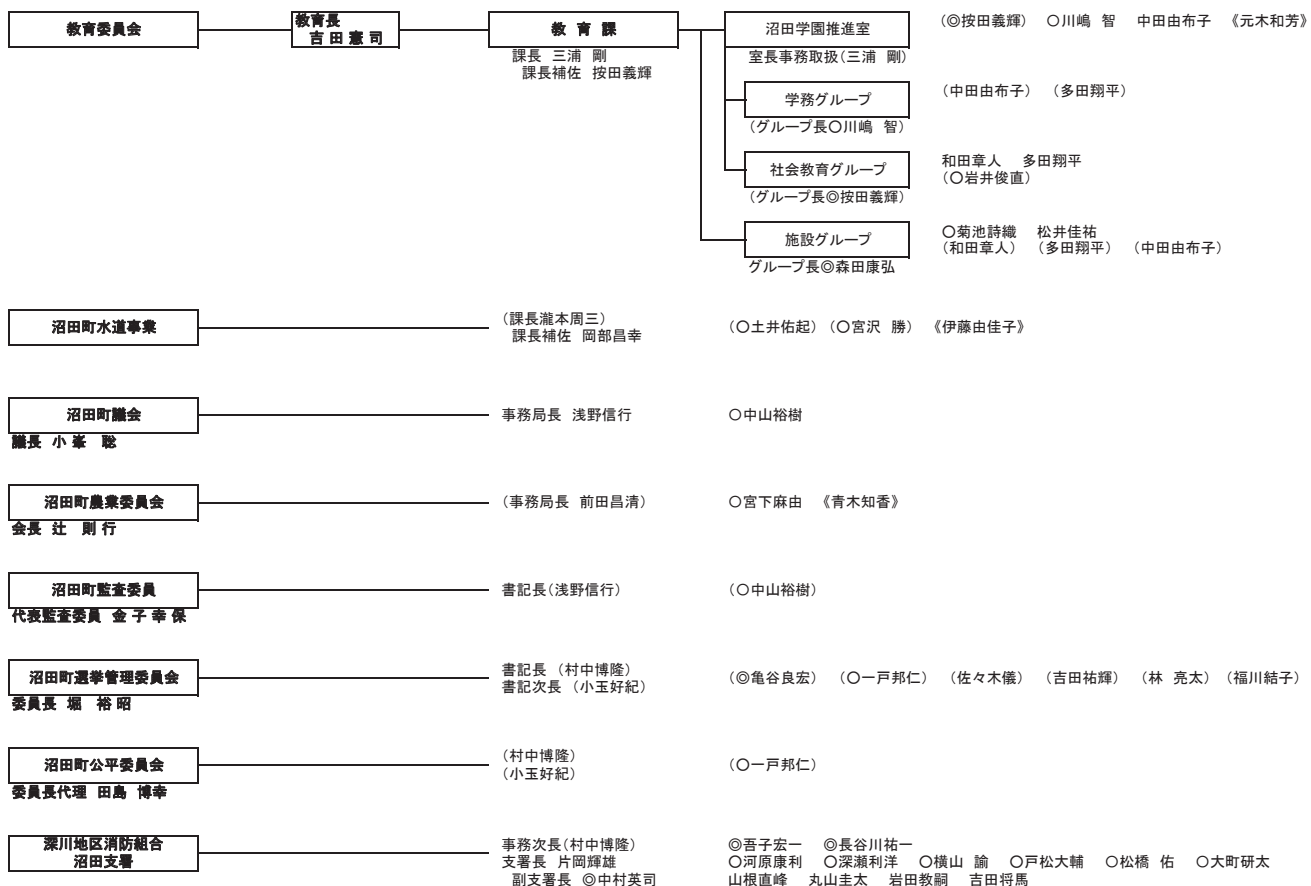
図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



沼田町機構図

令和2年4月1日現在





新規採用職員等の紹介

4月から沼田町役場で勤務しています、6名の
新規採用職員等を紹介します。

ごとう ゆめな 後藤 夢奈

所 属：旭寿園 介護職員
出身地：深川市
趣 味：お菓子作り、読書
抱 負：「できない」部分を補うだけでなく、「一人できそう」。または「少しの介助できそう」という部分を探し、その人が持っている力を十分に発揮できるような介護をしていきたいと思っています。



かんばやし あみり 勘林 愛美里

所 属：保健福祉課 保健師
出身地：札幌市
趣 味：運動・旅行
抱 負：町民の皆様にご信頼いただける保健師をめざして頑張ります。



しんぼ ともゆき 新保 智之 (道派遣職員)

所 属：農業推進課 新農業対策室
出身地：札幌市
趣 味：旅行、温泉めぐり
抱 負：沼田町の振興のために、微力ではありますが
すが尽力したいと思います。



よしむら よしひさ 吉村 喜久

所 属：和風園 生活相談員
出身地：山口県
趣 味：食べ歩き
抱 負：利用者様が安心して生活が送れるように
サポートさせていただきます。



たまき ゆうた 田巻 優太

所 属：産業創出課 雇用創出対策室
出身地：深川市
趣 味：散歩
抱 負：一日でも早く町民の方々のお役に立てる
ように頑張ります。



なりさわ けんたろう 成澤 健太郎

所 属：住民生活課 生活環境グループ
出身地：余市町
趣 味：卓球
抱 負：住民一人一人と笑顔で接します。



よろしくおねがいします

公平委員が交代しました

3月27日（金）町長室で平成19年3月から13年間、公平委員を務められた大三島茂氏（旭町西）に、長年にわたる功績を称え横山町長から感謝状が贈られました。

大三島氏は「これからも町の役に立てることで、自分にできることはやっていきたい」と話されていました。

また、新しく掘達人氏（北竜）が選任され、横山町長から「これからよろしくお願いします」と委嘱状が交付されました。

堀さんの任期は3月27日から4年間です。



西田篤正氏を 名誉町民に承認

令和2年第1回定例会において、元町長である西田篤正氏の名誉町民の決定について提案し、議会の同意が得られました。西田氏へは4月25日に名誉町民の称号が贈られます。

地域おこし協力隊

4月1日（水）新規採用として着任した木次大介さんへ委嘱状が交付されました。

木次さんは札幌市出身で趣味は映画鑑賞。今後は教育委員会で生涯学習に関する業務を行います。



おくやみ

氏名	死亡日	年齢	住所
高田美智子 さん（女）	3月28日	72歳	仲町東
門間ユキコ さん（女）	4月1日	81歳	仲町東

うぶごえ

出生	誕生月日	両親の名前
片桐 愛菜ちゃん	3月25日	圭一さん・淳子さん
山岡 結人くん	3月25日	凌太郎さん・友理さん

人の動き

（令和2年3月31日現在）

人口 2,982人（前月比 △ 6人）
 男性 1,408人（前月比 △ 4人）
 女性 1,574人（前月比 △ 2人）
 世帯数 1,467世帯（前月比△4世帯）

■総人口増減内訳

増加) 転入：20人 出生：1人
 減少) 転出：24人 死亡：3人

交通事故死ゼロ

（令和2年3月31日現在）

2,823日継続中!!